

2022年10月11日

郵産ユ岡山22-1

岡山中央郵便局

局長 藤井 博行 殿

郵政産業労働者ユニオン岡山支部

支部長 小野 雅道

## 2022年度年末年始繁忙に関する要求書

貴職の日ごろの奮闘に敬意を表します。

2022年度年末年始業務運行に関して安定的な業務運行の確保と社員・非正規社員の労働安全や健康を確保するために以下の要求を提出します。10月31日までに誠意ある回答と早急な交渉の場を求めます。

### 記

- 1、 「年末年始業務運行対策に関する労使間の意思疎通」のルールに基づき13項目について意思疎通を行うこと。
- 2、 連続出勤については、7日以内となるよう要員配置を行うこと。
- 3、 12月31日から1月3日までは、社員の健康面への配意の観点からも、超勤を行わずに済むよう要員確保を行うこと。
- 4、 1月1日から1月3日までに全社員に最低1日以上の日を確保すること。
- 5、 年末年始繁忙期における短期期間雇用社員の雇用確保に万全を期すこと。また、年明け以降も長期雇用できるようにすること。
- 6、 年末始に限らず夜間ゆうゆう窓口等が混雑するので、十分な要員配置を確保すること。
- 7、 「36協定」違反とならないよう指導することも含め、休憩取得や時間前着手根絶等、勤務時間管理を徹底すること。また、勤務時間が何故守られないのか原因を究明し解決に取り組むこと。
- 8、 年賀郵便物配達結束打切便について元旦配達分は12月30日夜までとすること。
- 9、 物品が不足しないよう、毎年何が不足しているかを挙げ、班長会等で対策を講ずること。
- 10、 元旦の機動車が不足しないよう確保すること。そのためにも、10万キロを超えたバイクが多数見られるが、繁忙期に故障し不足するといった事態も予測されるため、年数にこだわらず早急に新車に更改すること。

- 11、 機動車の自主整備に関して、超勤が膨らむ等の理由で勤務時間終了後に行っている事例が多数見受けられる。かなり時間をかけて行っている事例も見受けられる。どの項目を自主整備と定めているのか明らかにすること。管理者・役職者によって周知される自主整備項目が曖昧である疑いや時間外労働根絶の観点からも、自主整備はやめ業者対応とすること。
- 12、 前日区分に関して、明らかに夜勤担当でない社員が区分・道順をしている事例が見受けられる。前日区分等のために必ず超勤をしないとイケない雰囲気であることも含め、このような実態を会社はどう思っているのか明らかにし対策を講じること。
- 13、 年々、年賀郵便物の遅出し傾向が顕著になってきているが、元旦配達物数にこだわらず、無理な結束を行わないこと。
- 14、 交通事故、ロールパレット事故等の労働災害の根絶には万全を期すこと。また、全社員への研修、周知を徹底させること。
- 15、 毎年、繁忙期の超勤が過多になっている。超勤削減、そして社員の健康の為に、減区・速達等の兼配を解消できる要員を確保することを求めるが、逆に無理な超勤制限は行わないよう配慮すること。
- 16、 「自爆営業」根絶のため、かんぼ生命の事案のようなことが起きないように、低実績者へのパワハラ等が無いよう、高い実績を求め過ぎないようにあらためて管理者・役職者へ指導し社員周知を徹底させること。
- 17、 新型コロナウイルスの感染拡大は完全に収まったとは言い切れません。そんな中での戸別への営業活動は、お客様感情の観点からも控えること。
- 18、 新型コロナウイルスとインフルエンザが同時流行する可能性が高いと言われている中で、体操の声出しや唱和は中止し、ミーティングは簡素化するなどして、飛沫感染防止や密を作らないよう努め、感染防止対策を徹底すること。
- 19、 ロールパレット、パレットケース、バイクの壊れたキャリーボックスや破けた網紐も含め、物品が不足する事のないよう取り組むこと。
- 20、 なまものやこわれもの、バイクにとっては大きめの小包をバイクで配達しなくて済むよう、委託業者の確保に取り組み、撤退等しないよう配慮すること。また契約が遵守できるよう強く求めること。
- 21、 利用者に約束したことが守られるように、ゆうパック対策として小包配達担当者を雇用できるよう予算配分も含めて対処できるようにすること。
- 22、 繁忙期前から、バイクによる速達・小包等の兼配により、バイクのキャリーボックスのフタが閉まらない状態のまま走行せざるを得ない状況が多くある。少し大きい小包でさえバイクは積載が難しくなるため、荷崩れや破損等品質の観点からも、速達・小包のバイクでの兼配はやめ、混合区を復活させること。
- 23、 減区や兼配により、通配担当者は繁忙期前にもかかわらず持ち戻りとなる

事例が過去にあった。岡山郵便局でも処理が遅れ、更に配達も遅れると、お客様に多大な迷惑をかけることになるので、減区・兼配は中止し他局・支社からの応援、OBへの声かけ、更には管理者対応も視野に入れ、会社は責任を持って要員確保に努めること。

- 24、 重大事故やお客様への多大なる迷惑をかける可能性を何度も指摘してきたが、それでもなお減区・兼配を行う理由を説明すること。以前から主張していた年休が消化できないことを理由とするなら、早急に要員確保すること。
- 25、 繁忙を理由とした年休制限を行わないこと。希望しない日に勝手に年休を入れないこと。また、時季変更権の行使を行うなら、変更する時季を具体的に明示すべきところ、管理者・役職者は「出ない」で終わらせるため、改善しない理由を説明するとともに改善に向け指導徹底すること。
- 26、 例年狭いと不満が出ている年賀作業スペースを、ウマ・サオを倒す等の事故防止の観点からも広く確保すること。現行を可とするなら、その理由も説明すること。
- 27、 年賀も普通郵便も2パスの処理率が前年より落ちないように、手区分を増やさないように、要員配置を徹底すること。普段からも順番がバラバラな事があるが31日から年明けは2パス率が落ちる傾向にあるため、徹底すること。
- 28、 岡山郵便局において、未だに管理者・役職者が発端であると思われるいじめ・パワハラが報告されている。これまで何度も指摘したが、改善されないなら原因であると報告された管理者・役職者を配置換え・配転するなどし、他局であったような取り返しのつかない事態に発展する前に改善に向け真剣に取り組むこと。
- 29、 岡山郵便局からの小包等も含めたトラック便が遅れることのないよう、岡山郵便局の要員確保には万全を期すよう努めること。
- 30、 年賀区分を岡山中央郵便局で行うにあたり、岡山南・妹尾・倉敷等の周辺局も区分し、更に岡山郵便局から不慣れな社員を派遣するようなことがあるなら、その分は増員するなどして業務に支障が出ないように、お客様に迷惑をかけないように取り計らうこと。
- 31、 岡山郵便局で要員確保ができない事が年賀作業を岡山中央で行わないといけない一因と思われるが、岡山中央郵便局は改善傾向にあるのになぜ岡山郵便局は毎年のように確保できないのか、なぜベテラン社員が多く退職していくのか、職場へのアクセスの不便さ、管理者によるパワハラの漫然化等は特にきちんと原因究明して解消できるよう対策を講じること。

以上